

「マクロ経済スライド」の発動に抗議し撤回を求める声明

政府・厚生労働省は、4月の年金改定において「マクロ経済スライド」を史上初めて適用しました。物価・賃金の上昇にも関わらず年金をほとんど引き上げず目減りさせる、その適用に抗議し撤回を求めるものです。

この適用は、消費税増税と生活必需品の値上げが相次ぎ、国民健康保険・介護保険料などの値上げのなか強行されたものです。多くの高齢者がいっそう困難な生活を強いられていくこととなります。

重大なことは、政府・厚生労働省が「平成26年財政検証」で向こう30年間、毎年これを適用して年金を下げ続けるとしていることです。しかも、確実にこれを適用できるようにするための改悪まで検討されています。この年金削減は現在の高齢者だけでなく、将来の高齢者の生活も危うくし、国民の生存権は保障されません。

この年金削減の流れを変えるため私たち全日本年金者組合は、これまで行政不服審査請求運動、「くらし守れ20万請願大運動」に取り組み、それぞれ12万6千余、30万余国民の怒りを結集しました。この運度を発展させるため、いま新たに、「若い人も高齢者も安心できる年金制度を」の100万署名を、「年金削減違憲訴訟」とともに取り組んでいます。

私たちは、「マクロ経済スライド」の初適用に当たり重ねてこれに抗議し、その撤回を求めるとともに、年金削減を阻止するため運動を強化することを表明するものです。

2015年4月1日

全日本年金者組合

中央執行委員長 富田浩康